



今できることにチャレンジ！
未来につながる、
ふるさとの水辺

朝もやに浮かぶ漁師の姿

思わず足を止めて見入る夕暮れ

水辺で遊んだ、遊んでもらった記憶

家族で囲んだ食卓のあの味

いつもそばにあり、あたり前なものを

ずっとずっと伝えていきたい。



宍道湖

Shinji-ko

自然に親しむことは

暮らしを守ること。

豊かな暮らしを未来の世代へ

私たちにできることを

丁寧に、着実に。



中海

Nakaumi

Our Action

01 オゴノリング 大作戦



セブン-イレブン
記念財団

この事業は一般財団法人セブン-イレブン記念財団から
環境NPO自立支援強化助成を受けて活動しています。



中海の海藻「オゴノリ」を活用し 環境・ひと・経済が循環する 持続可能なモデルの構築を目指す



オゴノリ刈りを体験する高校生

関係人口を増やす

畑部・池部・販売部・広報部のような「部活」を創設し、大根島の畑で枝豆やさつま芋を栽培、畑の横の池を開拓し、生き物観察、中海でのオゴノリ刈り…多くの方に参加頂けるオープンエアーのフィールドを用意しています。

畑部：枝豆・さつま芋栽培、収穫、畑でのイベント企画・運営など

池部：枝豆畑横の池開拓、池でのイベント企画・運営など

販売部：農作物の収穫や販売に関わる企画、海藻販売に関わる企画など

広報部：活動の情報発信（SNS）や写真撮影など



池の再生活動をいっしょにしませんか？



なかうみちゃん



オゴノリ効果が見える枝豆畑



芋は「パン屋空」さんで好評販売中

広がる輪

2019年3月31日には、SDGs未
来都市に指定されている日南町、環境循
環型農業を実践している日南町海藻米
研究会(2020年度より当法人がオゴ
ノリを提供)と三者協定を締結するな
ど、「オゴノリング」の輪が大きく強く
なっています。



02 中海・宍道湖の食を広めよう会



目にもうれしい料理の数々が並ぶ会で中海・宍道湖の食を五感で楽しめます。



赤貝(サルボウガイ)の殻蒸し

汽水湖で育まれる豊かな食を知り水辺をもっと身近に

地元食への関心を高めるとともに、地域コミュニティとの接点づくりや、センターの活動を知らない方への入り口、会員同士の交流、そして会員・寄付へとなげる貴重な機会となっています。中海・宍道湖と斐伊川流域(山里川海)の旬で新鮮な食材を使ったお料理は見た目も美しく、美味しさと共に新しさがあり、地元の人にとっても毎回新鮮な発見があります。近年では県外からのご参加も増え、その広がりを見せています。

上)イイダコ煮つけ
下)モクズガニのパスタ



多様な人にとっての関心事である「食」を通じて自然と地域を取り巻く現状・課題を語ることで、当法人活動への共感が生まれています。



03 教育機関での 環境学習



自分で釣って、さばいて食べることで命の循環を体験します。

地域の豊かな自然を
伝えることのできる
人を育てる

松江工業高等専門学校

「グローバルエンジニア育成事業」の一環「実践工学英語演習」の授業で、オゴノリ刈りやオゴノリを畑へまく体験をし、その取り組みをSDGsの視点で英訳し英語でプレゼンしてくれました。今後、海外の学会でも発表予定です。

また、「松江高専SDGsの日」グローバルエンジニアを目指して〜」では、当法人の取り組みを発表させていただきました。

一過性の授業で終わらず、身近な地域課題を自分ごととして考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



学生からの質問に答える様子

松江市立意東小学校

年に6回の授業の中で中海を大好きになります。

学習を始めたころの子どもたちは、中海について無関心の様子でした。地域の方の話聞き、問題に取り組む活動を知り、そして実際に中海で水や生き物に触れたことで心が変わっていききました。中海の特産品赤貝の復活を目指す漁師さんとの交流、また地域の方から伝統料理を教わって他県産の赤貝と味比べ。中海で育った赤貝のおいしさを体感した子供たちは、シンポジウム等様々な場面でそれらを発表し、最後の授業「赤貝販売」では、自信たっぷりで誇らしげに中海産赤貝の良さを伝えながら販売しました。その中で、命をいただくという大きな循環を身をもって体験します。



美味しく楽しいのが学習の特徴です



04

& 天神川の水草刈り 生き物観察



地域の方と一緒に活動しています

水辺にある課題を 楽しく解決

市民の力で賢く活用

夏の恒例行事として地域の皆さんとの協働によって、天神川に繁茂した水草を刈り取ります。刈り取った水草は地域農家の畑へ投入し、自然素材のマルチ(雑草抑制)として活用され、ゆくゆくは土壌改善へとつながり、循環利用します。



サオで水草刈りをする様子

触れて水辺を知る

子どもたち楽しく水辺に親しんでもらうため、生き物観察会も同時に実施します。

「きれいにする」という課題解決から、リーダーも増え、水辺に親しんでもらう事業になりました。また、企業の社会貢献という視点から、企業の皆さんと会社前の天神川の水草刈りも展開しています。



川に入って楽しむ様子

2020年度から、新しく市民の方より畑を提供していただきます。そこに天神川の水草を畑に投入し、作物を作り、販売するところまでみなさんと展開します。いっしょに身体を動かして、ご参加いただけます。



05

中海のシンポジウム



「会的評価
の達成への道筋」
問社会研究城
政策研究センター准教授
講師 菊地直樹氏



令和元年度しまね社会貢献基金寄付者設定テーマ事業
株式会社 伊藤園 お〜い お茶『お茶で島根を美しく。』

中海の学習を発表する小学生



SDGsカードをつかったダイバーシティな交流

ひとりじゃできないけど、
ひとりひとりが
できることがある

住民・企業・行政・専門家、そして次世代の小中学生。様々な立場の人が一堂に会したシンポジウムを2019年12月に初開催しました。発表してくれた中学生は「SDGs的な考え方で人や環境を守り、人間の思いが一つになれば、世界が変わっていくのではないかと感じます。思いを一つにして、SDGsで考えて、実際に行動してみませんか？」と発表してくれました。

私たちは、「みんなで一緒に楽しみながら」自然再生をしたいと考えています。



中海浚渫地の環境修復事業

私たちの活動に理解を
シンポジウムの中では当法人の事業の一つで中国電力株式会社の受託調査研究事業「中海浚渫地の環境修復事業に関する環境調査業務」についての報告もおこないました。



世代を越えた意見交換





その他にも様々な中海・宍道湖を守るため、
伝えるための活動を行っています

● インターンシップの受入

当法人へのSDGsインターンシップ生の受け入れプログラム「Try-Angie(トライアングル)」を始動しました！

この地には受け継がれてきた豊かな自然のフィールド、先人が築き上げた古来からの特有の文化があ



県外からの学生も大歓迎！事務所そばの宿泊施設「漆喰の宿 天神」が利用できます

ります。そして、SDGsへの道のりはすでに多様な人々と共に実践されていると自負しています。そんなフィールドを、自ら行動に移していく次世代と肌で感じ、共に学び、これからも持続可能な社会を目指そうと考えています。

● 講演受け入れ

島根大学附属中学校の未来創造科「社会を知る」キャリア育成の授業の一環で、中海宍道湖の自然再生に挑む当法人での働き方や活動を伝えています。

また、松江南高校の「生き方ガイダンス」に毎年出展し、「NPO法人で働く」ということについて次世代の高校生にお話しています。「給料はもらえるんですか…？」等、率直な質問をもらうことができ、就職先の一つとしてNPO法人を考えてもらうきっかけになっています。

● 視察

新しい社会(Society 5.0)に向けてオンライン視察も開始しました！当法人がこれまで蓄積してきた組織運営等についてお話しさせていただきます。

● 募金箱

募金箱を作成し、活動にご賛同いただいている店舗や施設に設置しています。

募金箱を設置いただける企業・店舗様を募集しております。



募金箱を見かけたらぜひ
ご協力をお願いします！



自然再生センターでは、以下の方法で活動へのご参加ができます。
あなたができる方法でご参加をお願いします！



寄付



会員になる



実際に参加



買い物

詳しくは
ウェブサイトへ

○ 賛助会員(団体)50音順・敬称略

アジア建設工業株式会社/一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団/今岡ガクブチ店/株式会社板倉重機/城崎温泉富士見屋/来待石灯ろう協同組合/公益財団法人ホシザキグリーン財団/サンイン技術コンサルタント株式会社/中国電力株式会社/東洋ソーラー株式会社/中海漁業協同組合/中浦食品株式会社/日南町海藻米研究会/平井建設株式会社/松江土建株式会社/美保テクノス株式会社/ユニティ不動産/和光産業株式会社 他



SDGsの拠点として 事務所を移転しました

「国宝松江城」の城下町の中心街、JR松江駅から600mの距離にある建物の3階です。1階には、設計事務所&喫茶があり、2階は不動産屋、そして3階の屋根裏に階段を新設し梁と土壁をそのまま生かした「自然再生」「SDGs」の活動を展開するに値する空間になっています。

この建物全体を、「SDGsの館」と呼び、三者がお互いの強みを生かし相互に協力し合い事業を展開します。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

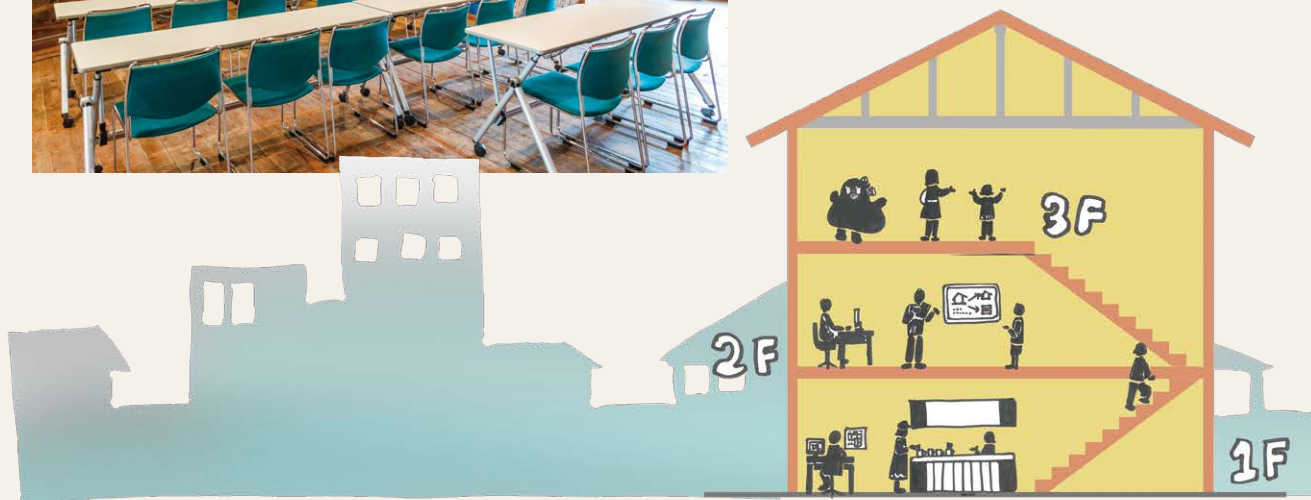
新住所：〒690-0064 島根県松江市天神町1-27-3階



3階：自然再生センター

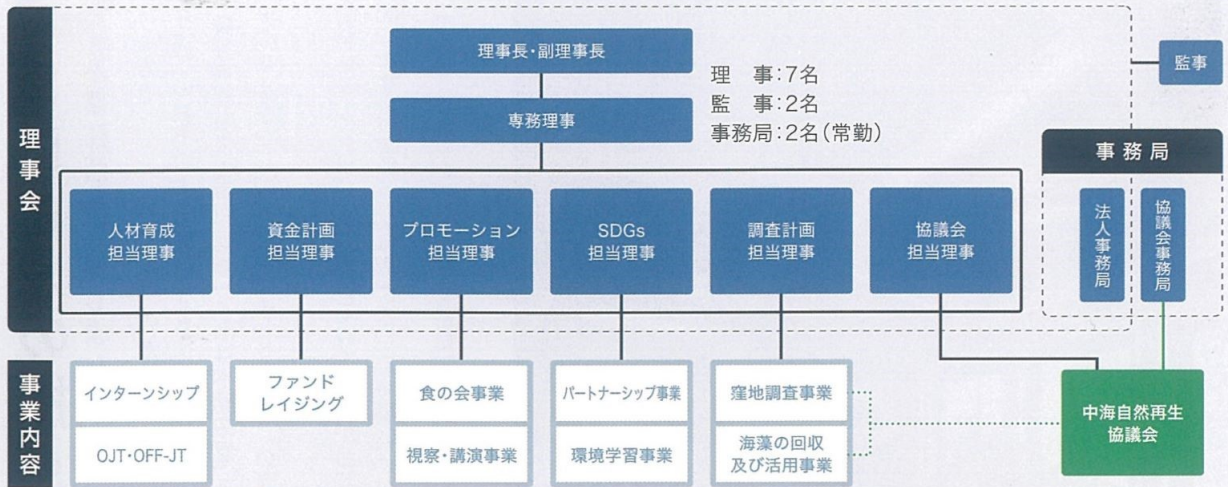
2階：ユニティ不動産

1階：コクーン設計舎&キッチン付き交流スペース



イラスト：つぼくら なみ

●認定NPO法人 自然再生センターについて



○役員

- 〈理事長〉 松本 一郎 (島根大学大学院教育学研究科教授)
- 〈副理事長〉 國井 秀伸 (島根大学名誉教授)
小倉 加代子 (認定NPO法人 自然再生センター)
- 〈専務理事〉 田中 秀典 ((公財) 島根県環境保健公社)
- 〈理事〉 毛利 葉 ((公財) とっとり県民活動活性化センター理事長)
坪倉 菜水 (株式会社天神 Products 代表取締役・コクーン設計舎代表)
- 〈監事〉 河野 美江 (島根大学保健管理センター教授・学長特別補佐 (ダイバーシティ推進担当))
澤 アツ子 ((公財) 21世紀職業財団島根県・鳥取県駐在代表)



自然再生センター外観

認定NPO法人 自然再生センター

NPO Nature Restoration Center

〒690-0064 島根県松江市天神町127・3階
Tel:0852-21-4882 Fax:0852-61-0900
E-mail:info@sizen-saisei.org



当法人はSDGsを実践しています。
SDGs…17の目標と169のターゲット
からなる「持続可能な開発目標」

○ウェブサイト

<https://www.sizen-saisei.org/>
※お振込み方法・イベント申込みはこちらから



○facebookページ

<https://www.facebook.com/sizen.saisei/>



○instagram

<https://www.instagram.com/sizen.saisei.center/>



本冊子は皆様からの会費・寄付により作成させていただきました。
ありがとうございました。